

原子力発電で反転

東芝

東芝の先行きはいいか、悪いのか。そんな投資家の心情が株価に反映された週だった。

傘下の米ウエスチングハウスが米原子力発電所向けの制御装置メーカー買収を発表したことで、株価は一転して上昇。成長分野の原子力発電事業に注目が集まった。上場企業の6社に1社が第1四半期で黒字転換している。東芝の本格的な反転は、もう少し先になるかもしれない。

企業価値検索サービス ユーレット アクセス上昇ランキング

(7月27~31日)

7月29日に発表した第1四半期(4~6月)決算は営業損益が376億円の赤字で、最終損益も578億円の赤字だった。主力の半導体事業

	銘柄	取引所	株価(円)
1	トヨタ自動車	東証1部	3990
2	凸版印刷	東証1部	966
3	三井物産	東証1部	1187
4	東芝	東証1部	420
5	鹿島建設	東証1部	267

※7月31日終値。http://www.ullet.com/

の不振が響いた。その一方で、7~9月期は半導体事業が持ち直す見通しから「営業損益の黒字転換が見込める」(経営幹部)と発言したが、10年3月期業績予想が500億円の最終損失見通しと据え置かれたことで、先行き不安はぬぐえなかった。

しかし、31日に東芝の黒字転換が見込める「(経営幹部)と発言したが、10年3月期業績予想が500億円の最終損失見通しと据え置かれたことで、先行き不安はぬぐえなかった。しかし、31日に東芝

ユーレット 上場企業4000社の決算書を複数年にわたりデータベース化したサイト。売上高や営業CFなど、さまざまな角度から企業の経営を分析し、ワンクリックで他社と比較できる。経営方針の転換や経営リスクの高まりなど、市場が注目する銘柄のアクセスが増える傾向がある。